

グローバル・アンブレラ



- UBS BRIC／追加型投信／海外／株式／インデックス型
- UBS コモディティ／追加型投信／海外／その他資産(商品先物)／インデックス型
- UBS フード(豪ドル連動型)／追加型投信／海外／その他資産(商品先物)／インデックス型
- UBS 原油(WTI先物指数連動型)／追加型投信／海外／その他資産(商品先物)／インデックス型
- UBS マネー／追加型投信／国内／債券

※当レポートにおける分配金については全て税引前としております。また、基準価額の記載については全て信託報酬控除後としております。

ファンドの特色

■株式またはコモディティを実質的な投資対象とした4つのファンドと、待機資金用のマネーファンドの計5つのファンドをご提供します*。

*販売会社により取扱うファンドが異なる場合があります。

- ・ファンドは株式またはコモディティの主要指数に概ね連動した投資成果を目指します。
- ・グローバル・アンブレラを構成する5つのファンドは、「UBS BRIC」、「UBS コモディティ」、「UBS フード(豪ドル連動型)」、「UBS原油(WTI先物指数連動型)」、「UBS マネー」です。

■グローバル・アンブレラを構成するファンド間でスイッチングが可能です。ただし、販売会社によりスイッチングができない場合があります。

各ファンドの投資割合に応じて、様々なポートフォリオの構築が可能となります。

- ・「UBS マネー」の買付は、スイッチングによる買付のみとなります。
- ・「UBS マネー」以外のファンドから、他ファンドにスイッチングする際には、一旦、「UBS マネー」にスイッチングし、後日、他ファンドへスイッチングする必要があります。

■UBSアセット・マネジメントが運用を行います。

- ・UBSアセット・マネジメントは総合金融機関UBSグループの資産運用部門です。

※資金動向、信託財産の規模、市況動向等によっては、上記の運用ができない場合があります。

グローバル・アンブレラの仕組み

- 各ファンドは、概ね指数の動きと連動する運用を目指します。
- 各ファンド間でのスイッチングが可能です。ただし、販売会社によりスイッチングができない場合があります。

グローバル・アンブレラ	UBS BRIC	主としてMSCI BRIC インデックスに採用されているブラジル、ロシア、インド、中国の4カ国の企業の株式を中心に実質的に投資を行います。 【ベンチマーク】MSCI BRIC インデックス(円換算ベース)	←→	※UBS マネー
	UBS コモディティ	世界の代表的商品市況を表すUBSブルームバーグCMCI総合指数に価格が連動するユーロ円建て債券等(商品指数連動債等)を中心に実質的に投資を行います。 【ベンチマーク】UBSブルームバーグCMCI総合指数(円換算ベース)	←→	
	UBS フード(豪ドル連動型)	世界の代表的商品市況を表すUBSブルームバーグCMCI指数食品関連セクターの豪ドルヘッジ*ベースに価格が連動するユーロ円建て債券等(商品指数連動債等)を中心に実質的に投資を行います。 【ベンチマーク】UBSブルームバーグCMCI指数食品関連セクター(豪ドルヘッジ、円換算ベース)	←→	
	UBS 原油(WTI先物指数連動型)	世界の代表的商品市況を表すUBSブルームバーグCMCI指数のWTI原油指数に価格が連動する上場投資信託証券を中心に投資を行います。 【ベンチマーク】UBSブルームバーグCMCI指数WTI原油指数(円換算ベース)	←→	



(注)販売会社によりスイッチングができない場合、またはスイッチングの対象ファンドが異なる場合があります。詳しくは各販売会社へお問い合わせください。

※信用度の高い円建て短期公社債等に投資を行い、利息等収益の確保を図ります。

- ・「UBS マネー」の買付は、スイッチングによる買付のみとなります。
- ・「UBS マネー」以外のファンドから、他ファンドにスイッチングする際には、一旦、「UBS マネー」にスイッチングし、後日、他ファンドへスイッチングする必要があります。

*「豪ドルヘッジ」とは、米ドル建てである原指数に、米ドル売り／豪ドル買いの為替取引の投資効果を加えたものをいいます。

資金動向、信託財産の規模、市況動向等によっては、上記の運用ができない場合があります。

※「グローバル・アンブレラ UBS原油(WTI先物指数連動型)」の名称につきましては、2017年12月2日より「UBS原油先物ファンド」に変更する予定です。

<グローバル・アンブレラ>

UBS BRIC

追加型投信／海外／株式／インデックス型

ファンドの特色

- 主としてMSCI BRIC インデックスに採用されているブラジル、ロシア、インド、中国の4カ国の企業の株式を中心に実質的に投資を行います。
- ベンチマークは、MSCI BRIC インデックス(円換算ベース)とし、概ね連動させるように運用を行います。

運用実績

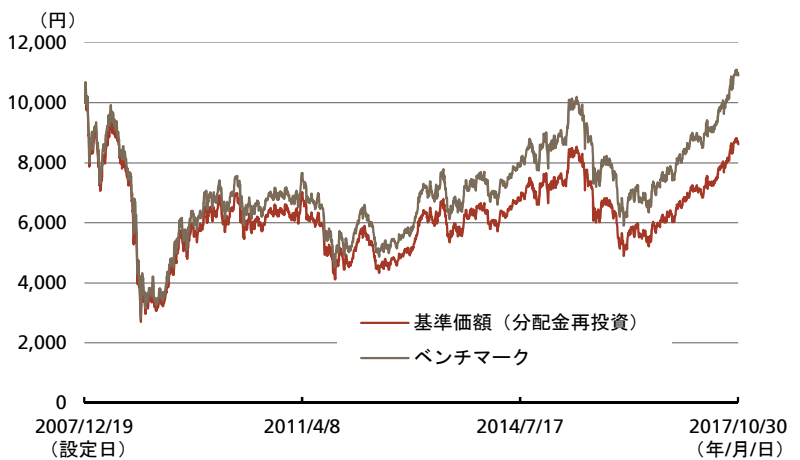
ファンドデータ

基準価額	8,623円
純資産総額	28.2億円
設定日	2007年12月19日
信託期間	2007年12月19日から 2017年12月5日まで
決算日	原則として毎年12月5日 (休業日の場合は翌営業日)

分配金実績（1万口当たり、税引前）

決算日	分配金額
2012年12月5日	0円
2013年12月5日	0円
2014年12月5日	0円
2015年12月7日	0円
2016年12月5日	0円
設定来累計	0円

基準価額(分配金再投資)の推移



基準価額(分配金再投資)の騰落率

	1ヵ月	3ヵ月	6ヵ月	1年	3年	設定来
ファンド	3.47%	10.03%	20.30%	37.31%	23.36%	-13.77%
ベンチマーク	4.18%	11.26%	22.42%	41.31%	32.94%	9.20%

※分配金額は収益分配方針に基づいて委託会社が決定します。ただし、運用状況等によっては、委託会社の判断で分配金の金額が変わる場合、又は分配金が支払われない場合があります。※上記の分配金は過去の実績であり、将来の分配金を示唆、保証するものではありません。

※上記グラフは設定日から報告基準日までのデータを表示しています。※基準価額(分配金再投資)は、運用管理費用(信託報酬)控除後、ファンドの分配金(1万口当たり、税引前)でファンドを購入(再投資)したと仮定した場合の価額です。※ベンチマークは、基準日前日のMSCI BRICインデックス(現地通貨ベース)を投資信託協会が公表する基準日の各通貨レートで円換算し、指数化したものです。※騰落率は各応答日で計算しています。※応答日が休業日の場合は前営業日の数値で計算しています。※基準価額の騰落率と実際の投資家利回りは異なります。※上記は過去の実績であり、将来の運用成果を示唆、保証するものではありません。

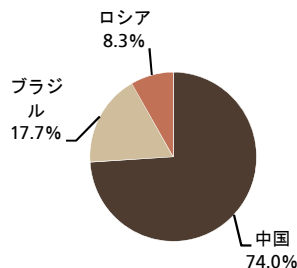
ポートフォリオの状況

資産構成比

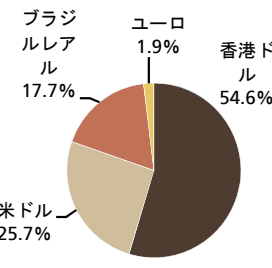
株式	83.0%
その他 現金等	17.0%
	100.0%

※資産構成比は、マザーファンドの純資産総額に占める割合です。

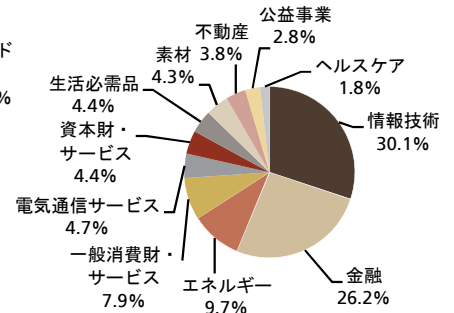
国別構成比



通貨別構成比



業種別構成比



※国別/通貨別/業種別構成比は、マザーファンドの株式評価総額に占める割合です。※表示桁数未満の数値は四捨五入で処理しているため、合計が100%とならない場合があります。

上記は基準日時点におけるデータであり、将来の成果を示唆・保証するものではなく、市場動向等により変動します。また、ポートフォリオの内容は市場動向等を勘案して随時変更されます。

UBS BRIC (続き)

組入れ上位10銘柄（銘柄数合計： 231銘柄）

銘柄名	国	業種	銘柄概要	構成比
1 騰訊[テンセント・ホールディングス]	中国	情報技術	通信サービス会社。インターネット、携帯電話、通信関連のサービスを中国国内で提供する。インスタントメッセージ(IM)サービス、オンライン広告事業も手掛ける。	10.2%
2 アリババ・グループ・ホールディング	中国	情報技術	持株会社。子会社を通じて、インターネット・インフラ、eコマース、オンライン金融、インターネット・コンテンツなどのサービスを提供する。世界各国で製品およびサービスを提供。	8.3%
3 中国建設銀行	中国	金融	商業銀行。一般銀行業務ならびにその他の金融サービスを個人、法人向けに提供。リテールバンキング、国際決済やプロジェクトファイナンス、クレジットカードサービスを手掛ける。	3.0%
4 百度[バ・ドゥ]	中国	情報技術	インターネット検索サイト会社。アルゴリズム検索、企業検索、ニュース、MP3、画像検索、音声アシスト、オンラインストレージ、ナビゲーションサービスを提供。世界各国で事業を展開する。	2.6%
5 チャイナ・モバイル	中国	電気通信サービス	携帯電話サービス会社。子会社を通じて携帯電話通信ならびに関連サービスを中国本土と香港SARで展開する。	2.5%
6 中国工商銀行	中国	金融	商業銀行。中国全土に支店を持ち、個人および法人向けの各種銀行サービスを提供。預金、融資、クレジットカード、ファンドの引き受けならびに信託業務、外国為替決済、貿易決済などの業務を行う。	2.4%
7 中国平安保険（集団）[ピン・アン・インシュアランス]	中国	金融	保険会社。損害、災害、生命保険などの保険サービスを提供する。金融サービスも手掛ける。	1.8%
8 イタウ・ユニバンコ・ホールディング(優先株)	ブラジル	金融	商業銀行。預金業務をはじめ個人、商業、法人向け銀行サービス、およびプライベート・バンキングを手掛ける。主要サービスは、消費者ローン、資産管理、保険、年金、財務、モーゲージ、リースファイナンス、証券代理業、外為業務など。	1.7%
9 中国銀行	中国	金融	商業銀行。個人客および法人客を対象に一般銀行業務ならびにその他の金融サービスを幅広く手掛け、世界中で業務を展開する。主な業務は、リテール・バンキング、GreatWallクレジットカード、デビットカード、消費者金融、外国為替取引、コーポレート・バンキング、受渡・決済、資金運用業務など。	1.6%
10 ズベルバンク・オブ・ロシア	ロシア	金融	銀行。預金業務および商業銀行サービスを手掛ける。定期預金、法人向け銀行業務、証券仲介業務、信用供与、外国為替業務、クレジットカードなどを提供。	1.6%

※構成比は、マザーファンドの純資産総額に占める割合です。

※上記は基準日時点におけるデータであり、いかなる個別銘柄の売買、ポートフォリオの構築、投資戦略の採用等の行為を推奨するものではありません。

上記は基準日時点におけるデータであり、将来の成果を示唆・保証するものではなく、市場動向等により変動します。また、ポートフォリオの内容は市場動向等を勘案して随時変更されます。

市場概況

10月の当ファンドの基準価額は3.47%上昇し、当ファンドのベンチマークは4.18%上昇しました。各国市場の動き(現地通貨ベース)は以下の通りです。なお、当ファンドの償還に向けて、当月より組入株式を売却し、現金化を開始しています。

ブラジル株式:

MSCIブラジル株インデックスは、0.03%上昇しました。原油価格の上昇や、政策金利の引き下げなどが株価を支えた一方で、テメル大統領の汚職疑惑を巡る政治不透明感や、構造改革の遅れへの懸念、財政赤字の拡大などが重石となって小幅な上昇となりました。

ロシア株式:

MSCIロシア株インデックスは、0.76%下落しました。ロシアの小売大手であるマグニトが7-9月期の決算で大幅減益となったことが嫌気されて急落したことが市場を押し下げました。また、スペインのカタルーニャ州の独立運動を巡る懸念も重石となりました。

インド株式:

MSCIインド株インデックスは、6.47%上昇しました。

海外株高が支えになったほか、インド経済の回復基調や、主要企業の好業績や政府の景気刺激策への期待などを背景に、インド株式市場は月を通して上昇基調となりました。また、不良債権問題の解消に向けて、国有銀行に対して公的資金の投入が決定したことも相場を押し上げました。

中国株式:

MSCI中国株インデックスは、3.89%上昇しました。9月末に発表された預金準備率の引き下げや、好調な企業決算などが好感されて、中国株式市場は上昇しました。注目された中国共産党大会は、貧困層の削減、技術革新の醸成、過剰設備の調整、環境保護などを議題として進められ、大きなサプライズなく閉会しました。

※上記の市場概況は、本資料作成時点での当社の見解であり、将来の動向や結果を示唆・保証するものではありません。また、将来予告なしに変更する場合があります。

<グローバル・アンブレラ>

UBS コモディティ

追加型投信／海外／その他資産(商品先物)／インデックス型

ファンドの特色

- 世界の代表的商品市況を表すUBSブルームバーグCMCI総合指数に価格等が連動するユーロ円建て債券等(商品指数連動債等)を中心に実質的に投資を行います。
- ベンチマークは、UBSブルームバーグCMCI総合指数(円換算ベース)とし、概ね連動させるように運用を行います。

運用実績

ファンドデータ

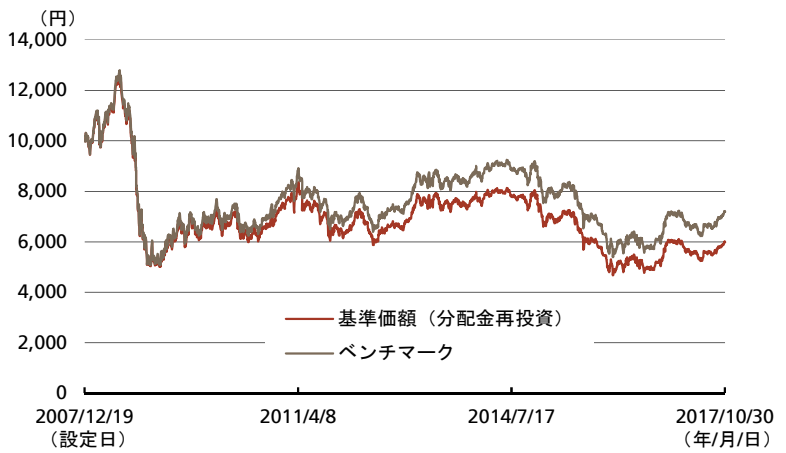
基準価額	5,987円
純資産総額	4.0億円
設定日	2007年12月19日
信託期間	2007年12月19日から 2017年12月5日まで
決算日	原則として毎年12月5日 (休業日の場合は翌営業日)

分配金実績 (1万口当たり、税引前)

決算日	分配金額
2012年12月5日	0円
2013年12月5日	0円
2014年12月5日	0円
2015年12月7日	0円
2016年12月5日	0円
設定来累計	0円

※分配金額は収益分配方針に基づいて委託会社が決定します。ただし、運用状況等によっては、委託会社の判断で分配金の金額が変わる場合、又は分配金が支払われない場合があります。※上記の分配金は過去の実績であり、将来の分配金を示唆、保証するものではありません。

基準価額(分配金再投資)の推移



基準価額(分配金再投資)の騰落率

	1ヵ月	3ヵ月	6ヵ月	1年	3年	設定来
ファンド	3.44%	6.47%	8.34%	14.26%	-21.28%	-40.13%
ベンチマーク	3.71%	7.31%	9.69%	16.71%	-17.01%	-28.05%

※上記グラフは設定日から報告基準日までのデータを表示しています。
 ※基準価額(分配金再投資)は、運用管理費用(信託報酬)控除後、ファンドの分配金(1万口当たり、税引前)でファンドを購入(再投資)したと仮定した場合の価額です。
 ※ベンチマークは、基準日前日のUBSブルームバーグCMCI総合指数をトムソン・ロイターが公表する基準日前日の為替レートで円換算したものです。
 ※騰落率は各応答日で計算しています。
 ※応答日が休業日の場合は前営業日の数値で計算しています。
 ※基準価額の騰落率と実際の投資家利回りは異なります。
 ※上記は過去の実績であり、将来の運用成果を示唆、保証するものではありません。

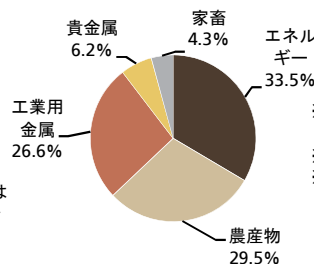
ポートフォリオの状況

資産構成比

ユーロ円建て債券*	97.2%
コールローン・その他	2.8%
合計	100.0%

*ユーロ円建て債券とはUBS AGロンドン支店が発行する商品指数連動債です。
 ※構成比は、マザーファンドの純資産総額に占める割合です。
 上記は基準日時点におけるデータであり、将来の成果を示唆・保証するものではなく、市場動向等により変動します。また、ポートフォリオの内容は市場動向等を勘案して随時変更されます。

ベンチマークのセクター構成比



※セクター構成比は、UBSブルームバーグCMCI総合指数における配分比率であり当ファンドのセクター構成比ではありません。
 ※セクター構成比は、年1回見直されます。
 ※表示桁未満の数値がある場合、四捨五入で処理しています。

市場概況

10月の当ファンドの基準価額は3.44%上昇し、当ファンドのベンチマークは3.71%上昇しました。なお、指数構成セクターの動向は以下の通りです(騰落率は米ドルベース)。

エネルギー:天然ガスを除くすべてのサブセクターが上昇しました。全体で4.2%の上昇となりました。

農産物:小麦、とうもろこしなどが下落した一方で、大豆油、砂糖、ココアなどが上昇しました。全体で0.5%の上昇となりました。

工業用金属:鉛を除くすべてのサブセクターが上昇しました。全体で5.0%の上昇となりました。

貴金属:銀が上昇した一方で、金は下落しました。全体で0.8%の下落となりました。

家畜:生牛、豚赤身肉ともに上昇し、全体で8.9%の上昇となりました。

※上記の市場概況は、本資料作成時点での当社の見解であり、将来の動向や結果を示唆、保証するものではありません。また、将来予告なしに変更する場合があります。

<グローバル・アンブレラ>

UBS フード(豪ドル連動型)

追加型投信／海外／その他資産(商品先物)／インデックス型

ファンドの特色

■世界の代表的商品市況を表すUBSブルームバーグCMCI指数食品関連セクターの豪ドルヘッジ*ベースに価格が連動するユーロ円建て債券等(商品指数連動債等)を中心に実質的に投資を行います。

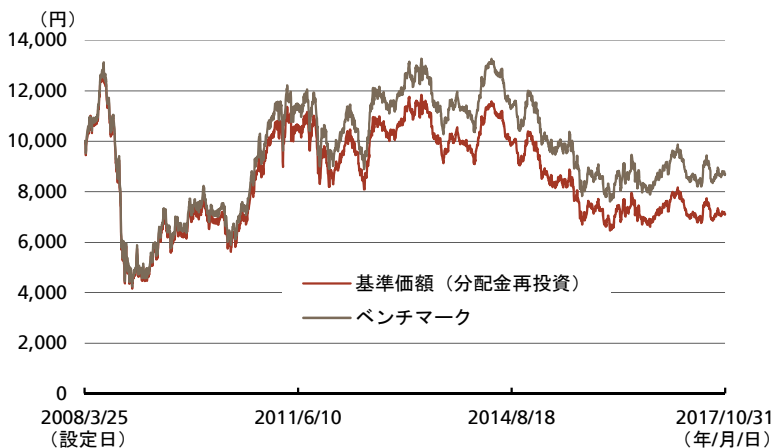
■ベンチマークは、UBSブルームバーグCMCI指数食品関連セクター(豪ドルヘッジ*、円換算ベース)とし、概ね連動させるように運用を行います。
*「豪ドルヘッジ」とは、米ドル建てである原指数に、米ドル売り／豪ドル買いの為替取引の投資効果を加えたものをいいます。したがって、当ファンドの基準価額は豪ドルと円との間の為替変動の影響を受けます。

運用実績

ファンドデータ

基準価額	7,110円
純資産総額	8.0億円
設定日	2008年3月25日
信託期間	2008年3月25日から 2017年12月5日まで
決算日	原則として毎年12月5日 (休業日の場合は翌営業日)

基準価額(分配金再投資)の推移



分配金実績 (1万口当たり、税引前)

決算日	分配金額
2012年12月5日	0円
2013年12月5日	0円
2014年12月5日	0円
2015年12月7日	0円
2016年12月5日	0円
設定来累計	0円

基準価額(分配金再投資)の騰落率

	1ヵ月	3ヵ月	6ヵ月	1年	3年	設定来
ファンド	0.55%	-5.92%	1.69%	-1.46%	-27.63%	-28.90%
ベンチマーク	0.76%	-5.50%	2.79%	0.57%	-23.24%	-13.04%

※上記グラフは設定日から報告基準日までのデータを表示しています。
※基準価額(分配金再投資)は、運用管理費用(信託報酬)控除後、ファンドの分配金(1万口当たり、税引前)でファンドを購入(再投資)したと仮定した場合の価額です。
※ベンチマークは、基準日前日のUBSブルームバーグCMCI指数食品関連セクター(豪ドルヘッジ)をトムソン・ロイターが公表する基準日前日の為替レートで円換算したものです。
※騰落率は各応答日で計算しています。
※応答日が休業日の場合は前営業日の数値で計算しています。
※基準価額の騰落率と実際の投資家利回りは異なります。
※上記は過去の実績であり、将来の運用成果を示唆、保証するものではありません。

※分配金額は収益配分方針に基づいて委託会社が決定します。ただし、運用状況等によっては、委託会社の判断で分配金の金額が変わる場合、又は分配金が支払われない場合があります。
※上記の分配金は過去の実績であり、将来の分配金を示唆、保証するものではありません。

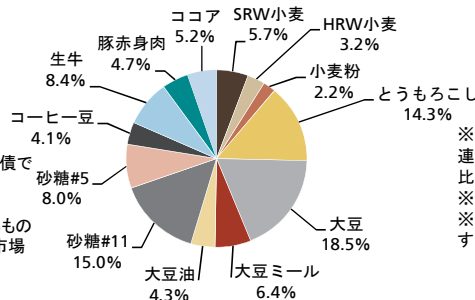
ポートフォリオの状況

資産構成比

ユーロ円建て債券*	97.0%
コールローン・その他	3.0%
合計	100.0%

*ユーロ円建て債券とはUBS AGロンドン支店が発行する商品指数連動債です。
※構成比は、マザーファンドの純資産総額に占める割合です。
上記は基準日時点におけるデータであり、将来の成果を示唆・保証するものではなく、市場動向等により変動します。また、ポートフォリオの内容は市場動向等を勘案して随時変更されます。

ベンチマークのセクター構成比



※セクター構成比は、UBSブルームバーグCMCI指数食品関連セクターにおける配分比率であり当ファンドのセクター構成比ではありません。
※セクター構成比は、年1回見直されます。
※表示桁未満の数値がある場合、四捨五入で処理しています。

市場概況

10月の当ファンドの基準価額は0.55%上昇し、当ファンドのベンチマークは0.76%上昇しました。当月の主なセクターの騰落率は以下の通りです(騰落率は米ドルベース)。

小麦:6.2%の下落 とうもろこし:2.2%の下落 大豆:0.9%の上昇 生牛:7.9%の上昇
当月の豪ドル相場は、円に対して1.7%の下落となりました。

※上記の市場概況は、本資料作成時点での当社の見解であり、将来の動向や結果を示唆、保証するものではありません。また、将来予告なしに変更する場合があります。

<グローバル・アンブレラ>

UBS 原油 (WTI先物指数連動型)

追加型投信／海外／その他資産 (商品先物)／インデックス型

ファンドの特色

- 世界の代表的商品市況を表すUBSブルームバーグCMCI指数のWTI原油指数に価格が連動する上場投資信託証券を中心に投資を行います。
- ベンチマークは、UBSブルームバーグCMCI指数 WTI原油指数 (円換算ベース)とし、概ね連動させるように運用を行います。

ファンドデータ

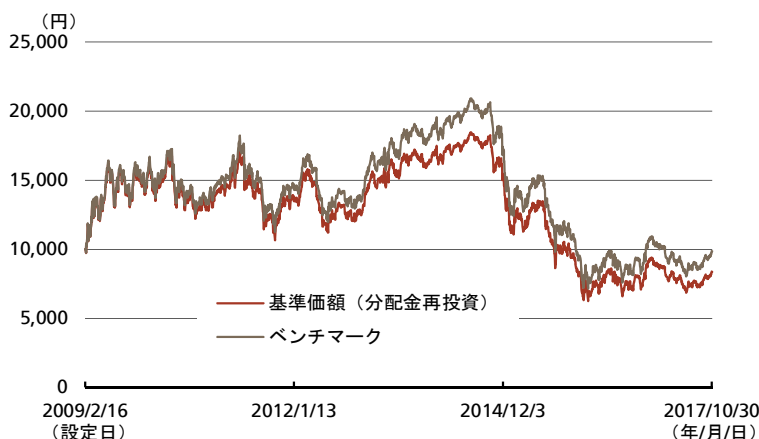
基準価額	8,372円
純資産総額	40.2億円
設定日	2009年2月16日
信託期間	2009年2月16日から 2022年12月5日まで
決算日	原則として毎年12月5日 (休業日の場合は翌営業日)

分配金実績 (1万口当たり、税引前)

決算日	分配金額
2012年12月5日	0円
2013年12月5日	0円
2014年12月5日	0円
2015年12月7日	0円
2016年12月5日	0円
設定来累計	0円

※分配金額は収益配分方針に基づいて委託会社が決定します。ただし、運用状況等によっては、委託会社の判断で分配金の金額が変わる場合、又は分配金が支払われない場合があります。
※上記の分配金は過去の実績であり、将来の分配金を示唆、保証するものではありません。

基準価額(分配金再投資)の推移



基準価額(分配金再投資)の騰落率

	1ヵ月	3ヵ月	6ヵ月	1年	3年	設定来
ファンド	3.82%	9.18%	7.36%	6.92%	-48.32%	-16.28%
ベンチマーク	3.99%	9.61%	8.24%	8.71%	-46.23%	-1.39%

※上記グラフは設定日から報告基準日までのデータを表示しています。
 ※基準価額(分配金再投資)は、運用管理費用(信託報酬)控除後、ファンドの分配金(1万口当たり、税引前)でファンドを購入(再投資)したと仮定した場合の価額です。
 ※2017年3月8日以降のベンチマークは、基準日前日のUBSブルームバーグCMCI指数WTI原油指数を投資信託協会が公表する基準日の為替レートで円換算したものです。(2017年3月7日以前のベンチマークは、基準日前日のUBSブルームバーグCMCI指数WTI原油指数をトムソン・ロイターが公表する基準日前日の為替レートで円換算したものです。)
 ※騰落率は各応答日で計算しています。
 ※応答日が休業日の場合は前営業日の数値で計算しています。
 ※基準価額の騰落率と実際の投資家利回りは異なります。
 ※上記は過去の実績であり、将来の運用成果を示唆、保証するものではありません。

ポートフォリオの状況

資産構成比

上場投資信託証券	99.9%
コールローン・その他	0.1%
合計	100.0%

※構成比は、純資産総額に占める割合です。
 左記は基準日時点におけるデータであり、将来の成果を示唆・保証するものではなく、市場動向等により変動します。また、ポートフォリオの内容は市場動向等を勘案して随時変更されます。

市場概況

10月の当ファンドの基準価額は3.82%上昇し、当ファンドのベンチマークは3.99%上昇しました。

WTI期近物は上昇しました。月序盤、石油輸出国機構(OPEC)の産油量の増加や、米ドル高進行による割高感などが嫌気されて、WTI期近物は下落しました。その後、サウジアラビアの減産発表や中国の原油輸入量の増加、クルド自治政府の独立を巡る地政学的リスクの高まりなどを背景に需給の改善が期待されて、WTI期近物は月の半ばにかけて値を戻す展開となりました。月末にかけても、OPECによる協調減産延長への期待などを材料にWTI期近物は上昇し、前月末の水準を上回って月を終えました。

※CMCI WTI原油先物指数は、3ヵ月～3年物に分散投資をしており、期近物の値動きから大きく乖離する場合があります。

※上記の市場概況は、本資料作成時点での当社の見解であり、将来の動向や結果を示唆、保証するものではありません。また、将来予告なしに変更する場合があります。

ファンドの主なリスク

UBS BRIC	株式の価格変動リスク、カントリーリスク、為替変動リスク
UBSコモディティ	商品（コモディティ）市場の変動リスク、為替変動リスク、商品指数連動債に関するリスク
UBSフード（豪ドル連動型）	商品（コモディティ）市場の変動リスク、為替変動リスク、商品指数連動債に関するリスク
UBS原油（WTI先物指数連動型）	商品（コモディティ）市場の変動リスク、為替変動リスク、上場投資信託証券に関するリスク
UBSマネー	金利変動リスク、短期金融商品における信用リスク

当ファンドの基準価額は、組入れられる有価証券等の値動きによる影響（外貨建資産には為替変動リスクもあります。）を受けますが、これら運用による損益はすべて投資者の皆様に帰属します。したがって、投資元本が保証されているものではなく、基準価額の下落により、損失を被り、投資元本を割り込むことがあります。また、投資信託は預貯金と異なります。

当ファンドにかかる主なリスクは次の通りです。ただし、すべてのリスクについて記載されているわけではありません。

1. 株式の価格変動リスク

・株価変動リスク

株式へ投資を行う場合、株価は、政治・経済情勢、株式の需給関係、発行企業の業績等を反映して変動します。また株価は、短期的または長期的に大きく変動することがあります。組入銘柄の株価が変動した場合には、基準価額に影響を与える要因となります。

（対象ファンド：UBS BRIC）

・信用リスク

株式の発行企業の業績悪化や経営不安、倒産等に陥った場合には投資資金の回収が出来なくなる場合があります、基準価額に影響を与える要因となります。

（対象ファンド：UBS BRIC）

2. カントリー・リスク

外国の有価証券へ投資を行う場合には、当該国・地域の政治・経済および社会情勢の変化により混乱が生じた場合には、基準価額に大きな変動をもたらす可能性があります。

また、BRIC（新興国）諸国には主に次のようなリスクがあり、これらのリスクはファンドの基準価額に大きな変動をもたらす可能性があります。

・先進国と比較して一般的に政治・経済および社会情勢等が著しく変化する可能性があります。

・資産の移転に関する規制、外国人による投資規制等の導入等の可能性があります。

・先進国と比較して一般的に法制度や社会基盤が未整備であり、情報開示等の基準が異なることから、正確な情報の確保が困難となる可能性があります。

（対象ファンド：UBS BRIC）

3. 為替変動リスク

世界各国の各種の通貨建有価証券等に投資を行う場合（商品指数連動債または上場投資信託証券を通じて外貨建資産に投資する場合を含みます。）には、円貨ベースにした場合、その資産価値は、為替レートの変動により影響を受けることとなります。為替レートは短期間に大幅に変動することがあります。したがって、為替の変動に伴い、当ファンドの基準価額が変動する可能性があります。為替レートは一般に、外国為替市場の需給、世界各国への投資メリットの差異、金利の変動その他の様々な国際的要因により決定されます。また、為替レートは、各国政府・中央銀行による介入、通貨管理その他の政策によっても変動する可能性があります。

（対象ファンド：UBS BRIC、UBS コモディティ、UBS フード（豪ドル連動型）、UBS 原油（WTI先物指数連動型））

4. 商品（コモディティ）市場の変動リスク

UBSブルームバーグCMCI総合指数（UBS コモディティの場合）、UBSブルームバーグCMCI指数食品関連セクター（UBS フード（豪ドル連動型）の場合）またはUBSブルームバーグCMCI指数WTI原油指数（UBS 原油（WTI先物指数連動型）の場合）の騰落率に価格が連動する仕組債または上場投資信託証券を高位に組入れた場合には、UBSブルームバーグCMCI総合指数、UBSブルームバーグCMCI指数食品関連セクターまたはUBSブルームバーグCMCI指数WTI原油指数の変動および商品（コモディティ）市場の変動の影響を大きく受けます。

（対象ファンド：UBS コモディティ、UBSフード（豪ドル連動型）、UBS原油（WTI先物指数連動型））

ファンドの主なリスク

5. 商品指数連動債に関するリスク

商品指数連動債*の価格は、対象インデックスの値動きと概ね連動するよう調整されるため、インデックスが下落した場合には下落することになり、この場合、当ファンドの基準価額も下落します。

また、当該債券の発行体に経営不振もしくは債務不履行等が生じた場合には、当該債券価格は大きく下落したり、利払いが滞ったり、売却が困難となる場合があります。

(対象ファンド:UBS コモディティ、UBS フード(豪ドル連動型))

6. 上場投資信託証券に関するリスク

UBS 原油(WTI先物指数連動型)が主要投資対象とする上場投資信託証券の価格は、対象インデックスの値動きと概ね連動するため、インデックスが下落した場合には下落することになり、この場合、ファンドの基準価額も下落します。

(対象ファンド:UBS原油(WTI先物指数連動型))

7. 金利変動リスク

公社債の価格は金利変動によって変動します。一般的に公社債の市場価格は、金利が低下した場合には上昇する傾向となり、逆に金利が上昇した場合には公社債の市場価格は下落する傾向があります。

(対象ファンド:UBS マネー)

8. 短期金融商品における信用リスク

ファンド資産をコール・ローン等の短期金融商品で運用する場合、取引相手方による債務不履行により損失が発生する可能性があります。

(対象ファンド:UBS マネー)

* 商品指数連動債の発行は、UBS AGロンドン支店が行います。ただし、将来AA以上もしくは同等の格付けを有する発行体の債券に投資をする場合があります。

その他の留意点

・当ファンドのお取引に関しては、金融商品取引法第37条の6の規定(いわゆるクーリング・オフ)の適用はありません。

・[分配金に関する留意点]

分配金は計算期間中に発生した信託報酬等控除後の配当等収益および売買益(評価益を含みます。)を超過して支払われる場合がありますので、分配金の水準は、必ずしも計算期間におけるファンドの収益率を示すものではありません。受益者のファンドの購入価額によっては、分配金はその支払いの一部ないし全てが実質的には元本の一部払戻しに相当する場合があります。また、ファンド購入後の運用状況により、分配金額より基準価額の値上がり小さかった場合も同様です。なお、分配金の支払いは純資産総額から行われますので、分配金支払いにより純資産総額は減少することになり、基準価額が下落する要因となります。

・UBS原油(WTI先物指数連動型)の基準価額は、スイス取引所の休業日等、対象インデックスの値動きに連動しない場合があります。

インデックス掲載に際してのご留意事項

■MSCIインデックス

MSCIインデックスに関する著作権、およびその他知的財産権はMSCI Inc.に帰属しております。MSCI Inc.が指数構成銘柄への投資を推奨するものではなく、MSCI Inc.は当指数の利用に伴う如何なる責任も負いません。MSCI Inc.は情報の確実性および完結性を保証するものではなく、MSCI Inc.の許諾なしにデータを複製・頒布・使用等することは禁じられております。

■Constant Maturity Commodity Index Family (コンスタント・マチュリティ・コモディティ商品指数、以下、「CMCI」といいます。)

CMCIに関する著作権、およびその他知的財産権はUBSおよびBloombergに帰属しており、UBSの許諾なしにデータを複製・頒布・使用等することは禁じられております。UBS AGまたはその関係会社(以下、「UBS」という)が情報提供のみを目的として作成したものであり、指数構成銘柄への投資を推奨するものではありません。UBSは、情報の正確性、確実性および完全性を保証するものではなく、UBSは当指数の利用に伴う如何なる責任も負いません。

「リスク管理体制」等については、投資信託説明書(交付目論見書)をご覧ください。

ファンドの費用

当ファンドの購入時や保有期間中には以下の費用がかかります。

■ 投資者が直接的に負担する費用

時期	項目	費用
購入時	購入時手数料	購入申込受付日の翌営業日の基準価額に 3.24%(税抜3.00%)以内 で販売会社が定める率を乗じて得た額を販売会社が定める方法により支払うものとします。 ※購入時手数料は、商品および関連する投資環境の説明および情報提供等、ならびに購入に関する事務手続きの対価です。
換金時	信託財産留保額	換金申込受付日の翌営業日の基準価額の 0.3% 「UBSマネー」には信託財産留保額はありませ

■ 投資者が信託財産で間接的に負担する費用

時期	項目	費用																																													
保有時	運用管理費用 (信託報酬)	<p>UBS BRIC 日々の純資産総額に年率1.3716%(税抜年率1.27%)を乗じて得た額とします。 (運用管理費用(信託報酬)=運用期間中の基準価額×信託報酬率) 配分は以下の通りです。(税抜、年率表示)</p> <table border="1"> <tr> <td>委託会社</td> <td>0.70%</td> <td>委託した資金の運用の対価</td> </tr> <tr> <td>販売会社</td> <td>0.50%</td> <td>購入後の情報提供、運用報告書等各種書類の送付、口座内でのファンドの管理および事務手続き等の対価</td> </tr> <tr> <td>受託会社</td> <td>0.07%</td> <td>運用財産の管理、運用指図実行等の対価</td> </tr> </table> <p>UBSコモディティ 日々の純資産総額に年率0.918%(税抜年率0.85%)を乗じて得た額とします。 (運用管理費用(信託報酬)=運用期間中の基準価額×信託報酬率) 配分は以下の通りです。(税抜、年率表示)</p> <table border="1"> <tr> <td>委託会社</td> <td>0.50%</td> <td>委託した資金の運用の対価</td> </tr> <tr> <td>販売会社</td> <td>0.30%</td> <td>購入後の情報提供、運用報告書等各種書類の送付、口座内でのファンドの管理および事務手続き等の対価</td> </tr> <tr> <td>受託会社</td> <td>0.05%</td> <td>運用財産の管理、運用指図実行等の対価</td> </tr> </table> <p>UBSフード(豪ドル連動型) 日々の純資産総額に年率1.08%(税抜年率1.00%)を乗じて得た額とします。 (運用管理費用(信託報酬)=運用期間中の基準価額×信託報酬率) 配分は以下の通りです。(税抜、年率表示)</p> <table border="1"> <tr> <td>委託会社</td> <td>0.65%</td> <td>委託した資金の運用の対価</td> </tr> <tr> <td>販売会社</td> <td>0.30%</td> <td>購入後の情報提供、運用報告書等各種書類の送付、口座内でのファンドの管理および事務手続き等の対価</td> </tr> <tr> <td>受託会社</td> <td>0.05%</td> <td>運用財産の管理、運用指図実行等の対価</td> </tr> </table> <p>UBS原油(WTI先物指数連動型) 日々の純資産総額に年率0.7992%(税抜年率0.74%)を乗じて得た額とします。 (運用管理費用(信託報酬)=運用期間中の基準価額×信託報酬率) 配分は以下の通りです。(税抜、年率表示)</p> <table border="1"> <tr> <td>委託会社</td> <td>0.39%</td> <td>委託した資金の運用の対価</td> </tr> <tr> <td>販売会社</td> <td>0.30%</td> <td>購入後の情報提供、運用報告書等各種書類の送付、口座内でのファンドの管理および事務手続き等の対価</td> </tr> <tr> <td>受託会社</td> <td>0.05%</td> <td>運用財産の管理、運用指図実行等の対価</td> </tr> </table> <p>※当ファンドが主要投資対象とする上場投資信託証券の管理報酬等の費用が当ファンドの純資産総額に対して年率0.26%程度(委託会社が試算した概算値)かかります。したがって、当ファンドの信託報酬率(年率0.7992%)に上場投資信託証券の費用を加えた実質的な報酬率は、当ファンドの純資産総額に対して年率1.0592%程度となります。</p> <p>UBSマネー 日々の純資産総額に年0.594%(税抜年0.55%)を上限とする率を乗じて得た額とします。 (運用管理費用(信託報酬)=運用期間中の基準価額×信託報酬率) 配分は以下の通りです。(税抜、年率表示)</p> <table border="1"> <tr> <td>委託会社</td> <td>0.25%</td> <td>委託した資金の運用の対価</td> </tr> <tr> <td>販売会社</td> <td>0.25%</td> <td>購入後の情報提供、運用報告書等各種書類の送付、口座内でのファンドの管理および事務手続き等の対価</td> </tr> <tr> <td>受託会社</td> <td>0.05%</td> <td>運用財産の管理、運用指図実行等の対価</td> </tr> </table> <p>※運用管理費用(信託報酬)は、無担保コール翌日物の金利水準により毎月見直されます。上記の表に記載された率は上限です。</p> <p>※各ファンドまたはマザーファンドの投資顧問会社(運用指図権限の委託先)への報酬は、委託会社が受取る報酬から支払われます。 ※運用管理費用(信託報酬)は、毎計算期間の最初の6ヵ月終了日、毎計算期末または信託終了のときファンドから支払われます。</p>	委託会社	0.70%	委託した資金の運用の対価	販売会社	0.50%	購入後の情報提供、運用報告書等各種書類の送付、口座内でのファンドの管理および事務手続き等の対価	受託会社	0.07%	運用財産の管理、運用指図実行等の対価	委託会社	0.50%	委託した資金の運用の対価	販売会社	0.30%	購入後の情報提供、運用報告書等各種書類の送付、口座内でのファンドの管理および事務手続き等の対価	受託会社	0.05%	運用財産の管理、運用指図実行等の対価	委託会社	0.65%	委託した資金の運用の対価	販売会社	0.30%	購入後の情報提供、運用報告書等各種書類の送付、口座内でのファンドの管理および事務手続き等の対価	受託会社	0.05%	運用財産の管理、運用指図実行等の対価	委託会社	0.39%	委託した資金の運用の対価	販売会社	0.30%	購入後の情報提供、運用報告書等各種書類の送付、口座内でのファンドの管理および事務手続き等の対価	受託会社	0.05%	運用財産の管理、運用指図実行等の対価	委託会社	0.25%	委託した資金の運用の対価	販売会社	0.25%	購入後の情報提供、運用報告書等各種書類の送付、口座内でのファンドの管理および事務手続き等の対価	受託会社	0.05%	運用財産の管理、運用指図実行等の対価
委託会社	0.70%	委託した資金の運用の対価																																													
販売会社	0.50%	購入後の情報提供、運用報告書等各種書類の送付、口座内でのファンドの管理および事務手続き等の対価																																													
受託会社	0.07%	運用財産の管理、運用指図実行等の対価																																													
委託会社	0.50%	委託した資金の運用の対価																																													
販売会社	0.30%	購入後の情報提供、運用報告書等各種書類の送付、口座内でのファンドの管理および事務手続き等の対価																																													
受託会社	0.05%	運用財産の管理、運用指図実行等の対価																																													
委託会社	0.65%	委託した資金の運用の対価																																													
販売会社	0.30%	購入後の情報提供、運用報告書等各種書類の送付、口座内でのファンドの管理および事務手続き等の対価																																													
受託会社	0.05%	運用財産の管理、運用指図実行等の対価																																													
委託会社	0.39%	委託した資金の運用の対価																																													
販売会社	0.30%	購入後の情報提供、運用報告書等各種書類の送付、口座内でのファンドの管理および事務手続き等の対価																																													
受託会社	0.05%	運用財産の管理、運用指図実行等の対価																																													
委託会社	0.25%	委託した資金の運用の対価																																													
販売会社	0.25%	購入後の情報提供、運用報告書等各種書類の送付、口座内でのファンドの管理および事務手続き等の対価																																													
受託会社	0.05%	運用財産の管理、運用指図実行等の対価																																													
その他の費用・手数料	諸費用(日々の純資産総額に対して上限年率0.1%(「UBSマネー」は上限年率0.05%))として、原則毎計算期間の最初の6ヵ月終了日、毎計算期末または信託終了のときファンドから支払われる主な費用																																														
	監査費用	監査法人等に支払うファンド監査に係る費用																																													
	印刷費用等	法定開示書類作成の際に業者に支払う作成・印刷・交付等に係る費用(EDINET含む)等																																													
	実費として、原則発生の都度ファンドから支払われる主な費用																																														
	売買委託手数料	有価証券等を取引所で売買する際に売買仲介人に支払う手数料																																													
	保管費用	海外保管銀行等に支払う海外資産等の保管・送金・受渡等に係る費用																																													
	※信託財産の規模、取引量等により変動しますので、事前に金額および計算方法を表示することができません。																																														

投資者の皆様にご負担いただく手数料などの合計額については、保有期間や運用の状況などに応じて異なりますので、表示することはできません。
詳しくは投資信託説明書(交付目論見書)をご覧ください。

お申込メモ

購入・換金単位	1円単位または1口単位を最低単位として、販売会社が定める単位とします。 ※詳しくは販売会社にお問い合わせ下さい。
購入価額	購入申込受付日の翌営業日の基準価額とします。(基準価額は1万口当たりで表示、当初元本1口=1円)
換金価額	換金申込受付日の翌営業日の基準価額から信託財産留保額を控除した価額とします。 ただし、「UBS マネー」は、換金申込受付日の翌営業日の基準価額とします。
換金代金	換金申込受付日から起算して原則として6営業日目から販売会社でお支払いたします。
申込締切時間	原則として販売会社の営業日の午後3時まで販売会社が受付けたものを当日の申込分とします。
スイッチング	「グローバル・アンブレラ」を構成する5つのファンド間でスイッチングが可能です。ただし、販売会社によりスイッチングができない場合、またはスイッチングの対象ファンドが異なる場合があります。詳しくは、各販売会社へお問い合わせください。「UBSマネー」以外のファンドから他ファンドにスイッチングする場合には、一旦、「UBSマネー」にスイッチングし、後日、他ファンドへスイッチングする必要があります。
購入・換金不可日	ロンドン証券取引所もしくはニューヨーク証券取引所の休業日またはロンドンの銀行もしくはニューヨークの銀行の休業日と同日の場合には、購入・換金申込みの受付は行いません。 また、上記に加えて、「UBS BRIC」に関しては、サンパウロ証券取引所、ロシア証券取引所、ボンベイ証券取引所もしくは香港取引決済所の休業日と同日の場合も、「UBS 原油(WTI先物指数連動型)」に関しては、スイス取引所もしくはチューリッヒの銀行の休業日と同日の場合も、購入・換金申込みの受付は行いません。
信託期間	平成29年12月5日まで(UBS 原油(WTI先物指数連動型)は平成34年12月5日まで) ※受益者に有利であると認めるときは信託期間の延長をすることができます。
決算日	原則毎年12月5日(休業日の場合は翌営業日)。
収益分配	年1回の決算時に、収益分配方針に基づいて分配を行います。(再投資可能)
繰上償還	次の場合には、ファンドの信託契約を解約し、ファンドを終了(繰上償還)させる場合があります。 純資産総額が各ファンド30億円(UBS原油(WTI先物指数連動型)は20億円、UBSマネーは100万円)を下回ることとなったとき、この信託契約を解約することが受益者のために有利であると認めるとき、またはやむを得ない事情が発生したとき また、「UBS 原油(WTI先物指数連動型)」に関しては、主要投資対象とする上場投資信託証券が存在しなくなった場合にも、ファンドを終了(繰上償還)させる場合があります。
課税関係	課税上は、株式投資信託として取り扱われます。 公募株式投資信託は税法上、少額投資非課税制度の適用対象です。 益金不算入制度および配当控除は適用されません。

ファンドの関係法人

委託会社	UBSアセット・マネジメント株式会社 金融商品取引業者 関東財務局長(金商)第412号 加入協会: 一般社団法人投資信託協会、一般社団法人日本投資顧問業協会				
受託会社	三菱UFJ信託銀行株式会社				
投資顧問会社	UBSアセット・マネジメント(UK)リミテッド				
販売会社					
商号等		加入協会			
		日本証券業協会	一般社団法人日本投資顧問業協会	一般社団法人金融先物取引業協会	一般社団法人第二種金融商品取引業協会
野村證券株式会社	金融商品取引業者 関東財務局長(金商)第142号	○	○	○	○
株式会社SBI証券*	金融商品取引業者 関東財務局長(金商)第44号	○		○	○
SMBCフレンド証券株式会社*	金融商品取引業者 関東財務局長(金商)第40号	○			
楽天証券株式会社*	金融商品取引業者 関東財務局長(金商)第195号	○	○	○	○
マネックス証券株式会社**	金融商品取引業者 関東財務局長(金商)第165号	○	○	○	

*SBI証券、SMBCフレンド証券、楽天証券はUBSマネーの取扱いはございません。

**マネックス証券はUBS原油、UBSマネーのみの取扱いとなります。

本資料は、運用状況に関する情報提供を目的として、UBSアセット・マネジメント株式会社によって作成された資料です。投資信託は値動きのある有価証券(外貨建資産には為替リスクもあります。)に投資しますので、基準価額は変動します。したがって、元本は保証されているものではありません。また、投資信託は預貯金とは異なり、元本は保証されておらず、投資した資産の減少を含むリスクがあることをご理解の上、購入のお申込をお願いいたします。投資信託は預金等や保険契約とは異なり、預金保険機構および保険契約者保護機構の保護の対象ではありません。登録金融機関を通じてご購入頂いた場合は、投資者保護基金の保護の対象ではありません。本資料は各種の信頼できると考えられる情報源から作成されておりますが、その正確性・完全性が保証されているものではありません。本資料の中で記載されている内容・数値・図表・意見・予測等は、本資料作成時点のものであり、将来の市場動向、運用成果等を示唆・保証するものではなく、また今後予告なく変更されることがあります。購入のお申込にあたっては、販売会社より投資信託説明書(交付目論見書)等をお渡ししますので、必ず内容をご確認の上、ご自身でご判断くださいますようお願いいたします。